

# ふくしえんだより

【第73号】新春号

発行責任者 今野正孝

〒070-0901 旭川市花咲町1丁目2232番地

事務局(0166)53-5781・FAX(0166)51-2409

支援員直通(0166)54-8553・FAX(0166)54-8559



ホームページ【<https://kyokushinkai.or.jp/index.html>】

## 主な記事

★理事長よりあいさつ ······	2	★各事業所の紹介（就労継続支援B型） ······	6
★各役員紹介 ······	2	★各事業所の紹介（生活介護） ······	6
★第二旭川福祉園 新築完成 ······	2	★各事業所の紹介（グループホーム） ······	7
★補助金関係 ······	3	★新任職員紹介 ······	7
★決算報告 ······	3	★寄付金・寄贈品 ······	8
★きたのまちより ······	4	★ふるさと納税関係 ······	8
★きたのまちより ······	5	★編集後記 ······	8

# 新春のごあいさつ

社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて 令和4年度は社会福祉法人旭川旭親会にとりまして、生活介護事業所・第二旭川福祉園の新築オープン、グループホーム北野の女子棟の開設というように、非常に施設が充実した一年となりました。

特に法人本部・食堂と厨房の新設、きたのまち相談支援事業所の移設と発達障害者支援センターのさらなる充実へと、作業場も含め新しく溌濺な建物の中での生活は、利用者さんや職員にとりましてたいへん心地のよいものとなりました。振り返りますと昭和五十五年二月・北海道で最初の知的障害者（精神薄弱者）通所授産施設旭川福祉園として産声を上げ、そこから数えて四十二年目の大事業でありました。

この恵まれた環境に感謝しつつ、利用者さんと職員が力を合わせてさらなる飛躍を目指したいと考えているところであります。結びになりますが、世の中がコロナウイルスにより一変してしまいました。さらにはロシアによるウクライナ侵略、このことによる急激な円安と世界的な燃料価格や電気代の高騰、また地球環境や生態系の崩壊などいうように、想像もし難かったことが次から次と起きています。この難しい時代を、旭川旭親会の支援者ならびに法人関係者の皆様方からご指導をいただきながら、のりきっていきたいと思いますので、引き続きご支援ご鞭撻をいただけますようにお願い申し上げ新春のご挨拶いたします。

社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

理事 中田英作

理事 生駒雅彦

理事 守屋陽子

理事 濱田一康

理事 山田弘子

理事 佐藤優幸

監事 加藤 隆

評議員 煙山千賀子

評議員 山崎與吉

評議員 石田雅敏

評議員 大廣泰久

評議員 湯野信一

評議員 萩原 拓

評議員 稲田公要

評議員 武田亘明

評議員 仲条文月

副会長 高儀雪昭

副会長 長野智章

監査官 本光規

行事委員長 青木隆芳

## 第二旭川福祉園 令和4年4月 完成



# 補助金関係



■助成金交付団体 旭川市（国庫補助）

■助成金対象事業  
令和3年度施設整備計画事業  
旭川市障害者福祉施設等

施設整備費補助事業

■助成金額 125,300,000円  
■購入物品 第二旭川福祉園 新築

木造合金メッキ鋼板ぶき2階建  
1階464・56m<sup>2</sup>  
2階476・15m<sup>2</sup>

■完成日 令和4年3月18日



## 令和3年度 決算報告

社会福祉法人 旭川旭親会

(単位:千円)  
貸借対照表の要旨 令和4年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>			
流動資産	196,194	流動負債	28,799
固定資産（基本財産）	583,885	固定負債	169,808
固定資産（その他の固定資産）	258,486	負債の部合計	198,607
		純資産の部	
		基本金	30,065
		国庫補助金等特別積立金	230,317
		その他の積立金	172,796
		次期繰越活動増減差額	406,780
		純資産の部合計	839,958
資産の部合計	1,038,565	負債及び純資産の部合計	1,038,565

資金収支計算書の要旨

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
就労支援事業収入	35,470	就労支援事業収益	35,470
就労支援事業支出	35,068	就労支援事業費用	35,470
就労支援事業活動収支差額	402	就労支援事業活動増減差額	0
事業活動による収入	345,685	サービス活動収益	345,686
事業活動による支出	302,608	サービス活動費用	321,242
事業活動資金收支差額	43,077	サービス活動増減差額	33,444
施設整備等による収入計	131,321	サービス活動外収益	0
施設整備等による支出計	390,779	サービス活動外費用	623
施設整備等資金收支差額	▲259,458	サービス活動外増減差額	▲623
その他の活動による収入	266,750	経常増減差額	32,821
その他の活動による支出	4,773	特別増減収益	129,506
その他の活動資金收支差額	261,977	特別増減費用	132,803
当期資金收支差額合計	45,998	特別増減差額	▲3,297
前期末支払資金残高	130,297	当期活動増減差額	29,524
当期末支払資金残高	176,295	前期繰越活動増減差額	259,740
		当期末活動増減差額	289,264
		その他積立金取崩額	119,750
		その他積立金積立額	2,235
		次期繰越活動増減差額	406,779



■助成金交付団体  
社会福祉法人 北海道共同募金会  
■助成金対象事業  
共同募金助成事業（機器整備事業）

■助成金額 123,000円  
■購入物品 タブレット  
■納入日 令和4年5月20日

## 障害者支援センター「きたのまち」の取り組み

### きたのまち相談支援事業所

所長 島倉 千香絵

きたのまち相談支援事業所は、令和4年4月から花咲町の法人本部・第二旭川福祉園の建物に移転をいたしました。敷地内で旭川福祉園・第二旭川福祉園の皆様とお会いしたりご挨拶をさせていただいたりする機会が増えて、嬉しく思っているところです。

相談支援事業所では、指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業を行っています。今後も法人全体で力を合わせて地域の課題に取り組み、障害福祉サービスを利用する方々が安心した生活を送れるように努めています。

### 北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち 副センター長 富士本 百合子

当センターは平成17年8月から北海道の委託を受けて、道北3振興局（上川・留萌・宗谷）を担当圏域として2名体制で運営しています。機関支援と地域の体制づくりが主な業務内容です。今年度の活動実績は下記の通りですが、昨年度と比較して匿名相談の増加が見られ、支援人数が増加しています。

今年度より第二旭川福祉園の施設内にセンターを分岐することとなりました。拠点が2つになり、さらに重層的な支援体制が構築できるよう他機関との連携に努めてまいります。

【令和4年4月～12月時点の活動報告】

事業内容		実績	R3年度	同期実績
発達支援	実支援人数	173人	91人	
	延支援人数	503件	448件	
就労支援	実支援人数	13人	5人	
	延支援人数	19件	14件	
研修会 関係	主催・共催	6回(213人)	3回(239人)	
	講師派遣	5回(222人)	9回(440人)	
機関連携	主催・共催	6回	7回	
	自立支援協議会等の参加	11回	9回	
		連絡協議会への参加	26回	23回

### 上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち センター長 垣内中 明

当センターは平成21年4月より北海道と北海道労働局の委託を受け、上川中南部(2市12町1村)を活動圏域に現在9名のスタッフで運営しています。

前年に引き続き新型コロナウイルスの影響で、障害者雇用促進フェアの規模縮小、業種による企業訪問の制限、面談時間の短縮などの状況は続いております。しかし職場実習件数、就職件数はほぼ前年並みの数値で推移しており、業種によっては回復の傾向も見受けられます。

今年はハローワーク旭川、障害者職業センター旭川支所等の関係機関との連携をさらに強化しチーム支援としての体制を構築し支援にあたります。多くの相談者のニーズを尊重し、就職、また長く職場に定着できるよう就業、生活面での一体的な相談支援を行っていきたいと思います。

【令和4年4月1日～12月31日の活動報告】								
	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
登録者数	32	483	140	96	4	1	14	770
新規求職者数	1	47	10	5	1	0	0	64
相談支援件数	198	1,685	1,053	550	2	11	25	3,524
職場実習件数	0	45	6	5	0	0	0	56
就職件数	2	48	6	7	0	1	0	64
職場定着支援	51	641	128	32	0	3	0	855

### 旭川市職親会

事務局 伊藤 千佳代

障がいをもつ方々の就職と職場への定着を支援し、共に働き、共に暮らすことを願う様々な職種の事業主を中心として昭和37年に設立された旭川市職親会は今年で60年目を迎えました。旭川は全道で14か所ある職親会の中でも最も古く伝統と歴史のある職親会であり、現在132名(法人・個人)の会員様のご協力、ご賛同をいただきまして社会福祉法人旭川旭親会、障害者支援センターきたのまちが中心となって運営しております。

いまだ、新型コロナウイルスの影響により、会の行事が中止、延期せざるを得ない状況が続いている中ではありますが、令和4年12月18日に市内ホテルにて、旭川市職親会創立60周年記念式典・祝賀会を開催することができました。ご参加いただいた皆様と共に祝いできました事を、心から感謝申し上げます。

今後も、一人でも多くの事業主の方、ならびに趣旨にご賛同いただける団体および個人の方に会員となっていただけるよう活動して参ります。

### きたのまちジョブリハセンター

センター長 大泉 加奈

きたのまちジョブリハセンターでは、現在43名の方が登録をされ、1日約10名の方が利用されています。令和4年4月1日にジョブリハセンターは花咲町に移転しました。移転して間もない頃は少々環境の変化に戸惑っていましたが、現状では新しい環境に慣れてきています。

今年度はコロナウイルスの影響を受けることなく軽運動やヨガ教室・パソコン教室などの活動を行う事ができました。また、移転してからは作業時間を増やし社会復帰のきっかけに繋げていけるように努めています。

今後も感染対策をしっかりと行いながらメンバーが希望する活動や作業を取り入れながら安心して利用できるように努めたいと思います。



支援主任 原 太 雅



就労継続支援B型では、印刷や農作業、清掃等の施設外就労やお菓子の箱折等委託作業を中心に取り組んでいます。今年度もコロナウィルスの影響はありましたか、少しずつイベントの開催や作業量が戻りつつある年になりました。今年度はシルクスクリーン印刷の新しい機械を導入し、より幅広い印刷物に対応、新規施設外就労先の「旭廢社」様でのペットボトル分別作業と、工賃の向上に繋げることが出来ました。今後も新しい事を取り入れながら利用者さんがやりがいをもって働けるよう精進して参ります。今後とも変わらぬご指導くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

利用者より 渡辺聰志



私は昨年6月に旭川福祉園に入り、数々の施設外就労を経験させていただきました。内容として、ペットボトルの分別作業、いちごの収穫作業、工場内の倉庫整理、館内の清掃などに取り組みました。グループホーム東旭川に隣接している畑での農作業では、ビニールハウス内の草むしり、トマトの収穫、寒じめほうれん草の播種など暑さが厳しい時もありましたが、継続して行なうことが出来ました。

今後も施設外就労に力を入れ、頑張っていきたいです！

利用者より 安田智紀



去年の4月から旭川福祉園に入りました。最初はわからないことがありましたか職員に教えてもらい、色々新しい作業を覚えることが出来ました。最初は園内作業だけでしたが、今では3箇所の施設外就労に行って頑張っています。

今後も今までの知識や経験を生かして、さまざまな作業に取り組んでいきたいです。



施設長 加藤 浩二

昨年を振り返るとコロナ禍での生活が8年目となり、少しずつではありますが以前の様な生活が戻りつつあります。旭川福祉園においては昨年末に利用者・職員に複数名のコロナ陽性者が確認されました。ご家庭の皆様の協力もあり2週間ほどで収束することが出来ました事に心よりお礼申上げます。

さて、旭川福祉園での活動ですが、施設内での様々な委託作業に加え自主生産作業であるオフセット印刷、シルク印刷にも積極的に取り組んでいます。シルク印刷に関しては昨年7月に、大型乾燥機・4色印刷機・自動印刷機等を導入し多種多様な注文に対応可能となりました。施設外就労に関しては、色々な仕事の経験がしたい、沢山工賃が欲しい等の利用者からの希望を実現するため、今後においても新規契約会社の開拓も含め重点を置いた活動を行なっていきたいと思っております。また、農業就業人口が大幅に減少している世の中ですが、農業の発展とともに利用者の自信や生きがいを創出し社会参画を実現する「農福連携」にも積極的に参加していきたいと思っています。

# 就労継続支援B型

【旭川福祉園】





まだまだ寒い日々が続く中、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年末には生活介護においてもコロナ陽性が確認され、多数の利用者、職員が罹患する状況となりましたが、登園の自粛、事業の見直しを行い、二週間ほどで収束する事が出来ました。ご家庭及び各位におかれましては大変ご心配おかけしました。

今後におきましてはコロナウイルスの感染症法上の位置付けが特段の事情が生じない限り、5類感染症になる方針が示され、行動の制限や自粛が撤廃される事になりますが、感染拡大時の行動について慎重な判断が求められる事にもなります。旅行や販売会、スポーツ関連のイベント等皆さんが楽しみにしている事が再開される年になると期待し、感染予防対策を継続して行い、ウイルスという見えない存在を共にしながら、これまで計画で止まっていた事を実行して行きたいと思います。

さて、建物が新しくなってもうすぐ一年が経過しようとしていますが、皆さんそれぞれに自分のポジションを見つけ、日中活動に取り組んであります。これから的生活介護としての課題は重度化、高齢化の他にもさまざまあります。1人ひとりの生活のグレードをいかに担保して行くか、思い、希望を見出すために支援者はどう関わって行くか、昨今の報道等で見られる障がい者を取り巻く状況を踏まえしっかりと基本的な所を押さえておく必要があると思います。

# 生活介護

**[第一旭川福祉園]**



## 主幹 八代瑞希



令和4年4月より旭川市障がい者福祉施設等整備事業において完成した建物での活動が始まりました。新しい環境に適応できるかという懸念はすぐに払拭され、作業や食事等の時間を快適に過ごされている様子が窺えます。

広い作業場では一日の作業量を効率よくこなせるようになり、工賃アップにも結び付いています。また重度障がい者に対応した支援として、パーテーションを利用した空間では、集中力の持続が見られ特性を発揮できています。皆さんのが楽しみにしている食事は、好みの席を選択し食事のタイミングも自由なので、自立度の向上にも繋がっており、利用者の方々にも好評です。慣れてきた頃には新たな問題が発生することが考えられますが、個々のニーズを汲み取り、より安心できる支援を提供できるよう、職員一同一丸となって努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



## 利用者より 仲条文月



建物の外観がすごく良いです！食堂はきれいでレストランのようです。

新しくなった作業場は仕事がやりやすくて、はがどります。

## 利用者より 高瀬美紀



新しい建物はコロナ対策をしているのでとても良いです。今年は研修旅行で道外に行きたいです。希望は愛知県と三重県の伊勢神宮と、岐阜の白川郷にも行きたいです。

# グループホーム

【グループホーム  
東旭川・花咲・北野】

支援員 西中大地



現在、社会福祉法人旭川旭親会の運営するグループホームは、女性用の「グループホーム花咲」に4名、男性用の「グループホーム東旭川」に10名、新たに女性用の「グループホーム北野」を令和4年5月から開設し入居者さん6名、合計20名の入居者さんが地域で生活されています。

新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、利用者さんや職員に影響を及ぼしましたが皆様のご協力もあり乗り越えることができました。今後も手洗いうがいや、消毒を徹底して行い感染予防に努めてまいりたいと思います。

今年も「グループホーム東旭川」の敷地内で、利用者全員でバーベキューを行いました。

バーベキューの際には隣接するガーデンで収穫したスイカチャードや、子どもピーマンなどを提供しています。ガーデンでは野菜の他にもコキアやサルビア、マリーゴールドなどを植え、綺麗に咲くことができました。今後も地域の方々にも目を引くようなガーデンに出来るよう整備していくきたいと思います。



## 新任職員紹介



【就労継続支援B型】

用務員 森 俊樹



【きたのまち】

就業支援担当 鶴岡あみ



【グループホーム】

世話人 本間広明



【きたのまち】

就業支援担当 後藤知恵



【生活介護】

支援員 松田凌輝



【グループホーム】

世話人 小原香織



【グループホーム】

世話人(看護師) 國府久美子



【きたのまちジョブリハセンター】

支援員 沢真純



【グループホーム】

世話人 大黒美和



【生活介護】

看護師 梶田秀子



【グループホーム】

世話人 横井千春



【グループホーム】

世話人 松本浩子



【グループホーム】

世話人 大江雄吉



【グループホーム】

世話人 清水哉美

寄付金・御祝金

寄贈品

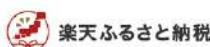
ふるさと納税の各ポータルサイトに、  
旭川福祉園・第二旭川福祉園・きたのまち  
ジョブリハセンターの商品が掲載されています。



- ①お米(10kg)
  - ②お米(5kg×2)
  - ③トマトジュース(1ℓ6本入り)
  - ④トマトジュース(1ℓ×1・180ml×5)
  - ⑤米粉入りラーメン(1食入り×12)
  - ⑥米粉入りラーメン(2食入り×4・1食入り×3)
  - ⑦セット1(トマトジュース1ℓ×1・お米2kg×1・米粉入りラーメン1食入り×2)
  - ⑧セット2(トマトジュース1ℓ×2・米粉入りラーメン1食入り×2)
  - ⑨セット3(トマトジュース1ℓ×1・米粉入りラーメン1食入り×8)



ふるさとチョイス  
あなたの意図をふるさとに



れとふる



【詳細は旭川旭親会ホームページにも掲載しております】

# 編集後記

少しづつ日常生活が元に戻ってきてる感じがしています。しかしながらウイルス感染の拡大や物価の高騰などがあり、日々の変化が目まぐるしいです。昨年は、サッカーワールドカップが開催され盛り上がりを見せました。惜しくもベスト16(最終順位は9位)でしたが、強豪国にも勝利し興奮したことを思い出します。

さて、今年はうさぎ年ですが、「飛躍」や「向上」の年と言われています。当法人も利用者さんと共に飛躍し、向上していくよう力を合わせていきたいと思います。 【池田】